会員のひろば

短歌

キャンバスに色重ねつつ描く様に
手稲の山の紅く染みゆく

本田　征子

五行歌の会

赤十字の看護婦だった母
戦地の兵隊さんの最期
多くは母を呼び
今も戦地で呼んでいるだろう
最期に母を

菅沼　由美子

投稿五行歌

神経たかり
そんなことない！
そうなのか？
検査結果
異常なし

たろちゃん

絵手紙同好会



曽我　隆二

雪のまち・旭川

南に大雪山連峰を望み周囲 360 度山々に囲まれた旭川は、自然に囲まれています。とはいえ、1 年の半分ほどが冬と言っても過言でないこの土地は、真冬には雪像を造って披露する「冬まつり」が開催されるなど、“人が集まる場所”が、私達の暮らしを支えてきました。それを今に引き継ぐのが、ときわ市民ホールで活動する「健康麻雀サロン」です。

メンバーの中心はベテランの女性たちで、男性も加わり、初級・中級・上級に分かれて曜日毎に週１回、笑いと真剣なまなざしが交差します。「勝ち負けよりも、ここに来るのが楽しみ」そう話す方も多く、卓を囲む時間は“生活の延長にある小さな幸せ”そのものです。

麻雀は、記憶力・判断力を養い、計算することで頭を働かせ、自ずと会話が生まれるゲーム。長年の暮らしで培われた“それぞれの読みあい、決断、知恵”が、活き活きと輝いています。

初級クラスでは、子供たちを迎える為に日曜日のコースを新設しました。ルールをじっくりと教え合い、リラックスして楽しめる雰囲気でいっぱい。

中級クラスでは、会話と勝負のバランスが心地よく、生活の知恵が飛び交います。

上級クラスでは、ベテランの女性たちに混じって男性陣も加わって、静穏の中、緊張感のある勝負が繰り広げられます。

雨の日、雪の日、風の日、どんな時でも、誰かが必ずやってくる。

ときわ市民ホールの明るい部屋には、男性たち、女性たち、

様々な人たちの“あったかい居場所”が広がっています。

旭川支部　編集部



旭川支部から、サークル活動紹介の投稿をいただきました。子供たちを迎える取組みもしているのですね。今後も情報が届きましたら掲載しますのでお楽しみに。